

調査票 (調査事項のみ収録)

貯蓄と消費に関する世論調査(平成6年)

問1 お宅の家計では、③過去1年間に手取り収入(税引き後)の何%(%未満は四捨五入)ぐらいを貯蓄④しましたか。

また、⑤年間手取り収入のうちボーナスや臨時収入(税引き後)からは何%(%未満は四捨五入)ぐらいを貯蓄しましたか(商・工業や農・林・漁業等事業のための貯蓄や、給与振込、口座振替など一時的にしか口座にとどまらないような預貯金は含めないでお答えください。以下の質問についても同様です)。

該当する番号に○印をつけてお答えください。

(注) この調査でいう貯蓄とは金融資産(問3に記載の貯蓄商品)であり、土地・住宅等の実物資産は含みません。

(記入例)

例えば、年間手取り収入100万円のうち

- ・5万円を貯蓄した場合 →

	5
--	---

 %
- ・12万5千円を貯蓄した場合 →

1	3
---	---

 %

とご記入ください(%未満は四捨五入)。

- ④
1. 年間手取り収入の

--	--

 %ぐらいを貯蓄した。
 2. 年間手取り収入から貯蓄を全くしなかった。
- ⑤
1. ボーナスや臨時収入の

--	--

 %ぐらいを貯蓄した。
 2. ボーナスや臨時収入から貯蓄を全くしなかった。
 3. ボーナスや臨時収入がなかった。

問2 お宅の家計では、現在、貯蓄を保有していますか。(○は1つ)

1. 貯蓄を保有している。 →

--

続けて問3の④、⑤にお答えください。
2. 貯蓄を保有していない。 →

--

続けて問3の⑥にお答えください。

問3 お宅の家計では、④現在の貯蓄商品別残高(手持ち現金を除く)およびその合計額はどのくらいですか。また、⑥今後1年間に貯蓄を増やしていく場合、どのような貯蓄商品にどのくらいの割合(貯蓄の年間増加額に占める割合)で貯蓄しますか。それぞれについて右表の④、⑥欄に数値をご記入ください。

貯蓄商品	④現在の貯蓄残高					⑥今後貯蓄を増やしていく場合の商品別構成比	
	億	千万	百万	十万	万円		%
1 預貯金(郵便貯金は除く)							
うち定期性預金(期間の定めのある預金)						—	—
2 郵便貯金							
うち定期性貯金(定額貯金、積立貯金等 期間の定めのある貯金)						—	—
うち定額貯金						—	—
3 金銭信託・貸付信託〔ビッグを含む〕							
4 生命保険・簡易保険 〔これまでに払い込んだ保険料の総額。ただし、掛け捨ての保険、年金型商品は除く。〕							
うち一時払型養老保険						—	—
5 損害保険 〔これまでに払い込んだ保険料の総額。ただし、掛け捨ての保険、年金型商品は除く。〕							
6 個人年金信託・個人年金保険・年金払積立傷害保険・簡易保険(年金払い) 〔これまでに積み立てた掛け金の総額。厚生年金、国民年金、公務員共済など公的年金の掛け金は除く。〕							
7 債券〔国債、地方債、金融債<ワイドを含む>、社債<転換社債を含む>等 〔時価<現在の相場>でお答えください。ご不明なら額面でお答えください。〕							
8 株式(従業員持株制度による株式を含む) (時価<現在の相場>でお答えください)							
9 投資信託〔株式投信、公社債投信、中国ファンド、MMF等 〔時価<現在の相場>でお答えください。ご不明なら額面でお答えください。〕							
10 財形貯蓄 (一般財形、年金財形、住宅財形の合計額)							
11 その他金融商品 (国債組合わせ商品、抵当証券、金貯蓄口座等)							
合計 (1~11の総計)	億	千万	百万	十万	万円		%
							100

- 問4** お宅では、貯蓄する商品を決める場合に、どのようなことに最も重点を置いて選びますか。(〇は1つ)
1. 利回りがよく、得だから。
 2. 将来の値上がり期待ができるから。
 3. 元本が保証されているから。
 4. 取扱い金融機関が信用できて安心だから。
 5. 現金に換えやすいから。
 6. 少額でも預け入れや引き出しが自由にできるから。
 7. その他

- 問5** お宅の家計では、㉔現在の貯蓄残高についてどのような評価をされていますか。
また、㉕その評価のもとで今後の貯蓄方針についてどのようにお考えですか。(〇はそれぞれ1つ)

- ① 十分である。 → ㉔
1. 貯蓄残高を増やす。
 2. 現在の貯蓄残高を維持する。
 3. 貯蓄残高を減らす。
- ② 不十分である。 → ㉕
1. 貯蓄残高を増やす。
 2. 現在の貯蓄残高を維持する。
 3. 貯蓄残高を減らす。

- 問6** お宅の家計の現在の貯蓄残高は1年前と比べて増えましたか、あるいは減りましたか。(〇は1つ)
1. 非常に増えた。
 2. 若干増えた。
 3. 変わらない。
 4. 若干減った。
 5. 非常に減った。
- 続けて問7にもお答えください。
- 問9にお進みください。
- 続けて問8にもお答えください。

- 問7** 問6で、「1. 非常に増えた」、「2. 若干増えた」に〇印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)
1. 勤労所得が増加したから。
 2. 勤労所得から貯蓄する割合を上げたから。
 3. 配当や金利収入があったから。
 4. 土地・住宅等の実物資産の売却による収入があったから。
 5. 相続、退職金等による臨時収入があったから。
 6. 株式、債券価格の上昇によりこれらの評価額が増加したから。
 7. その他

- 問8** 問6で、「4. 若干減った」、「5. 非常に減った」に〇印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(〇はいくつでも)
1. 手取り収入が減ったので貯蓄を取崩したから。
 2. 土地・住宅購入費用の支出があったから。
 3. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)購入費用の支出があったから。
 4. こどもの教育費用・結婚費用の支出があったから。
 5. 旅行、レジャー費用の支出があったから。
 6. 株式、債券価格の低下によりこれらの評価額が減少したから。
 7. その他

- 問9** お宅では、どのような目的で貯蓄をしていますか。(〇は3つまで)
1. 病気や不時の災害のときに備えるため。
 2. こどもの教育資金にあてるため。
 3. こどもの結婚資金にあてるため。
 4. 住宅(土地を含む)の取得または増改築などの資金にあてるため。
 5. 老後の生活資金にあてるため。
 6. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)の購入資金にあてるため。
 7. 旅行、レジャーの資金にあてるため。
 8. 納税資金にあてるため。
 9. 遺産として子孫に残してやりたいから。
 10. とくに目的はないが、貯蓄していれば安心なため。
 11. その他

- 問10** お宅では、現在のどのくらいの貯蓄残高を目標にし、その達成時期を何年後と考えていますか。それぞれ下表に数値をご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
貯蓄目標残高					
貯蓄目標達成予定時期					年後

- 問11** お宅では、主取引金融機関を決める場合、どのような理由から選びますか。(〇は3つまで)
1. 近所に店舗やATM(現金自動預け払い機)があり便利だから。
 2. 店舗網が全国的に展開されているから。
 3. 金融商品の品揃えが豊富で選択の幅が広いから。
 4. より収益性の高い金融商品を販売しているから。
 5. 金融アドバイザーとしての相談窓口が充実しているから。
 6. 経営が健全で信用できるから。
 7. 勧誘員が熱心で印象がよいから。
 8. テレビCM、ポスター、キャラクター商品などの印象がよいから。
 9. その他

- 問12** 金融自由化に伴い、貯蓄商品の金利が頻繁に変更されるようになったほか、同じ時期に、同じ商品に預入しても、金融機関により金利が異なることがあります。㉔お宅では、仮に、ある程度の期間、300万円程度のまとまったお金を運用する機会があるとします。その場合、金利に関しどのような考え方で金融機関を選ばれますか。ただし、金融機関の間では、金利以外の条件(規模、経営やサービスの内容など)は差がないものとします。(〇は1つ)
1. 現在の取引金融機関は、従来から固定しているので、貯蓄商品の金利のいかにかわらず、取引金融機関を替えるつもりはない。
→ 続けて問13にお答えください。
 2. 取引金融機関は、金利の高低だけで選択するわけではないが、現在の取引金融機関にくらべ、ある程度以上の金利差があれば有利な先に預け替えることを検討する。
→ 続けて㉕にもお答えください。
- ㉕上記2. を選択されたお宅では、金利の差が何%程度であれば、取引金融機関を変更されますか。(〇は1つ)

1. 0.1%程度の差でも預け替える。
2. 0.2%程度の差があれば預け替える。
3. 0.3%程度の差があれば預け替える。
4. 0.5%程度の差があれば預け替える。
5. 1%程度の差があれば預け替える。
6. 1.5%程度の差があれば預け替える。
7. 2%程度以上の差があれば預け替える。

- 問13** お宅では、金融機関のサービスについて、現在不満に思っていたり、今後改善してほしいと期待しているものがありますか。(〇はいくつでも)
1. 新しい金融商品やサービスの内容を、もっとわかりやすく説明してほしい。
 2. 総合的な資金管理についてきめ細かいアドバイスがほしい。
 3. 機械化の進展に伴いおそろかになってきている顧客とのコミュニケーションをもっと図ってほしい。
 4. 機械に弱い高齢者等が気軽に相談できる専門の相談窓口を設置してほしい。
 5. ホームバンキングやホームトレードに関するサービスを充実してほしい。
 6. 平日の窓口の営業終了時刻を延長してほしい(例えば現行の3時を5時に変更するなど)。
 7. 土・日・祭日にATM(現金自動預け払い機)の機能をフル稼働させるとともに、稼働時間帯も拡大してほしい。
 8. 窓口等での待ち時間をもっと短くしてほしい。
 9. 景品(ティッシュペーパー、ラップ等)にコストをかけるよりも預金金利や貸出金利の面で顧客に有利なレートサービスをしてほしい。
 10. 低利の個人ローン(教育ローン等)を拡充してほしい。
 11. 融資にあたっては、担保物件が乏しくても、人物やプロジェクトの質を見極めながら、弾力的に対応してほしい。
 12. 金融機関の業務に限らず金融や税金など暮らしに密着した情報を幅広く提供してほしい。
 13. 金融機関の経営内容(営業状況、財務内容、収益構造等)をわかりやすく開示してほしい。

- 問14** お宅では、金融自由化の進展について現在どのようにお考えですか。(〇は2つまで)
1. 金融自由化の進展に伴い、金融資産の選択の幅が広がり、個人にとってメリットが大きい。
 2. 個人の金融経済情報の収集能力には限界があるため、金融自由化の進展に伴いかえってリスクが増すことになり、個人にとってあまりメリットはない。
 3. 金融自由化の進展に伴い、金融機関、企業、個人はそれぞれ競争原理のもと自己責任において行動でき、公正な市場が形成されるので、歓迎している。
 4. 金融自由化の進展に伴い、金融機関の体力によっては合併や破綻が今後増えていくことが予想され、不安である。
 5. 金融自由化の進展に伴い、制度の変更や様々な金融商品、サービスが出現しているが、金融商品の内容や仕組みあるいは自由化のプロセスなどがよくわからず、やや戸惑っている。

問15 金融自由化の進展に伴い、いろいろな貯蓄商品が販売されるようになりました。その中には預入時に約束された金利が満期時まで変わらない「固定金利商品」と、預入期間中に金利が見直される「変動金利商品」とがあります。この2タイプの貯蓄商品のうち、預入時の金利や期間がほぼ同じである場合、お宅では、次のどの考え方で選ばれますか。(〇は1つ)

1. 金利が予め確定しているので、先行きの金融経済情勢には関係なく、固定金利商品を選ぶ。
2. 先行きの金融経済情勢を考えると、金利がさらに低下すると見込まれる場合には固定金利商品を選び、金利が上昇すると見込まれる場合には変動金利商品を選ぶ。
3. 将来の各時点の金利水準を反映した金利が得られるため、金融経済情勢には関係なく、変動金利商品を選ぶ。
4. よくわからないので、ひとに勧められた商品を選ぶ。

問16 お宅の家計(家族全体)の過去1年間の収入・支出それぞれについて、下表の該当する欄に金額をご記入ください。なお、年間手取り収入(税引後)については、さらにその前年の金額もご記入ください。

		億	千万	百万	十万	万円
収入 +	年間手取り収入(税引後) ^(a)					
	貯蓄金取崩し額 ^(b)					
	新規借入金額 ^(c)					
	土地・住宅売却金額 ^(d)					
支出 -	年間貯蓄額 ^(e)					
	年間借入金返済額 ^(f)					
	うち住宅ローン返済額					
	土地・住宅購入費用 ^(g)					
	消費支出 ^{(④)+(⑩)+(⑬)+(⑭)-(⑮)-(⑯)}					

参考 ①の前年の年間手取り収入(税引後)

--	--	--	--	--	--	--

(注) 年間手取り収入とは、就業に伴う収入、年金、不動産賃貸収入、利息収入等の税引後収入

問17 お宅では、過去1年間の消費支出をその前年と比べて増やしましたか、あるいは減らしましたか。(〇は1つ)

1. 消費支出を増やした。
→ 続けて問18にもお答えください。
2. 消費支出を変えていない。
→ 問20にお進みください。
3. 消費支出を減らした。
→ 続けて問19にもお答えください。

問18 問17で、「1. 消費支出を増やした」に〇印をつけたお宅では、どのような費目の消費支出を増やしましたか。(〇は3つまで)

1. 食料費
2. 住居費(家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)
3. 被服費(身の回り品を含む)
4. 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
5. 交通・通信費(自動車購入費は除く)
6. 教育費
7. 保健・医療費(美容関係を含む)
8. 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問19 問17で、「3. 消費支出を減らした」に〇印をつけたお宅では、どのような費目の消費支出を減らしましたか。(〇は3つまで)

1. 食料費
2. 住居費(家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)
3. 被服費(身の回り品を含む)
4. 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
5. 交通・通信費(自動車購入費は除く)
6. 教育費
7. 保健・医療費(美容関係を含む)
8. 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問20 お宅では、今後1年間の消費支出を過去1年間のそれと比べて増やしますか、あるいは減らしますか。(〇は1つ)

1. 消費支出を増やす。
→ 続けて問21にもお答えください。
2. 消費支出を変えない。
→ 問23にお進みください。
3. 消費支出を減らす。
→ 続けて問22にもお答えください。

問21 問20で、「1. 消費支出を増やす」に〇印をつけたお宅では、どのような費目の消費支出を増やしますか。(〇は3つまで)

1. 食料費
2. 住居費(家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)
3. 被服費(身の回り品を含む)
4. 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
5. 交通・通信費(自動車購入費は除く)
6. 教育費
7. 保健・医療費(美容関係を含む)
8. 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問22 問20で、「3. 消費支出を減らす」に〇印をつけたお宅では、どのような費目の消費支出を減らしますか。(〇は3つまで)

1. 食料費
2. 住居費(家賃、光熱・水道費は含め、土地・住宅購入費は除く)
3. 被服費(身の回り品を含む)
4. 耐久消費財(家具、家電、自動車等)購入費
5. 交通・通信費(自動車購入費は除く)
6. 教育費
7. 保健・医療費(美容関係を含む)
8. 教養娯楽(スポーツ、旅行を含む)・交際費

問23 お宅では、②過去1年間の消費支出の中で何を重視しましたか。

また、⑥今後1年間は何を重視していきたいとお考えですか。
次のうちから3つ選び、それぞれ下表の該当する番号に〇印をつけてください。

1. 健康・美容の維持(スポーツ、人間ドック、フィットネスセンター、エステティックなど)
2. 教養・文化生活の充実(美術展、コンサート、演劇、映画、ビデオ、カルチャーセンターなど)
3. 国内旅行(ドライブも含む)
4. 海外旅行
5. 高級アクセサリー等身の回り品の購入
6. グルメ
7. こどもの教育の充実(塾、家庭教師など)
8. 居住環境の改善(住宅リフォームなど)
9. 自動車、家電製品等耐久消費財の購入
10. ゴルフ・リゾート会員権の購入

(〇はそれぞれ3つ)

④過去1年間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
⑤今後1年間										

問24 お宅の家計では、現在、借入金(月賦払いの未払金は対象に含め、1~2か月後に決済するクレジットカード利用・ツケ買いによる未払金は除く)はありますか。(〇は1つ)

1. 借入金がある。
→ 続けて問25、問26、問27にもお答えください。
2. 借入金がない。
→ 問28にお進みください。

問25 現在借入金があるお宅にお尋ねします。現在の借入金残高と借入先別内訳をそれぞれ下表にご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 公的住宅専門金融機関<注1>					
その他金融機関<注2>					
販売会社、クレジット会社等					
貸金業者(サラ金、質屋)					
勤務先					
親類、知人					
その他					

<注1> 住宅金融公庫、年金住宅福祉協会等。
<注2> 銀行、信金、信組、労金、農・漁協、郵便局、保険会社、住宅金融専門会社等。

また、現在の借入金残高合計のうち、住宅ローン残高およびフリーローン^(注)残高をそれぞれ下表にご記入ください。

(注) フリーローンとは、借入金の資金使途が特定されていないローン(カードローンを含む)。

	億	千万	百万	十万	万円
現在の借入金残高合計					
うち 住宅ローン残高					
フリーローン残高					

(上記の合計の金額と一致)

問26 現在借入金があるお宅にお尋ねします。お宅では、どのような目的で借入れを行いましたか。

次のうちから3つ以内を選び、該当する番号に〇印をつけてください。
また、そのうちフリーローンによるものについては◎印をつけてください。

1. 医療費や災害復旧資金にあてるため。
2. こどもの教育資金にあてるため。
3. こどもの結婚資金にあてるため。
4. 住宅(土地を含む)の取得または増改築などの資金にあてるため。
5. 日常生活資金にあてるため。
6. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)の購入資金にあてるため。
7. 旅行、レジャーの資金にあてるため。
8. 株式等金融資産への投資資金にあてるため。
9. 土地・建物(マイホームは除く)等の実物資産への投資資金にあてるため。
10. 相続税対策の資金にあてるため。
11. その他

問27 現在借入金があるお宅にお尋ねします。借入金の返済方法に関する以下の①～③の3つの問いについて、それぞれあてはまるものを選び、該当する番号に○印をつけてください（借入金が多額ある場合は、最も金額の大きい借入金についてお答えください）。

(○はそれぞれ1つ)

① 返済期間は何年ですか（残存期間ではなく、契約当初の借入条件によりお答えください）。

1. 1年未満
2. 1年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～20年未満
5. 20年以上～30年未満
6. 30年以上

② 元本返済のタイプは次のどれですか。

1. 元利均等方式（返済元本と利息の合計額が毎回一定）
2. 元金均等方式（返済元本が毎回一定で、利息は逓減）
3. 元金一括返済方式
4. その他（返済額逓増方式など）
5. わからない

③ 借入金利については、次のうちどちらですか。

1. 固定金利
2. 変動金利

問28 お宅の家計では、クレジットカードを利用していますか。(○は1つ)

1. クレジットカードを利用している。

→ 続けて問29、問30にもお答えください。

2. クレジットカードを利用していない。

→ 問31にお進みください。

問29 クレジットカードを利用しているお宅にお尋ねします。

お宅では、現在クレジットカードを何枚保有していますか。また、この1年間のクレジットカードの利用回数、利用金額はどのくらいですか。

それぞれについて下表に数値をご記入ください。

現在の保有枚数	百 十 一 □ □ □ 枚
1年間の利用回数	百 十 一 □ □ □ 回
1年間の利用金額	千万 百万 十万 万 千円 □ □ □ □ □

問30 クレジットカードを利用しているお宅にお尋ねします。

お宅では、①クレジットカードをどの程度利用しているかについて、該当する番号に○印をつけてください。

また、②それはどのような理由からですか。次のうち該当する番号にいくつでも○印をつけてください。

- | | | | |
|---|------------------------------------|---|---------------------------|
| ① | 1. 積極的に利用している。 | ② | 1. 欲しいものがすぐに手に入るから。 |
| | 2. 持ち歩く現金を少なくすることができるから。 | | 2. 衝動買いをしたくないから。 |
| | 3. 支払いを後にずらすことにより手持ち資金を有効に活用できるから。 | | 3. 決済期日や口座残高の管理がわずらわしいから。 |
| | 4. 短期的な資金を借入れるのに便利だから。 | | 4. カードの紛失等の危険があるから。 |
| | 5. その他 | | 5. その他 |
| ② | 2. 積極的には利用していない。 | ③ | 1. 衝動買いをしたくないから。 |
| | 1. 衝動買いをしたくないから。 | | 2. 決済期日や口座残高の管理がわずらわしいから。 |
| | 2. 決済期日や口座残高の管理がわずらわしいから。 | | 3. カードの紛失等の危険があるから。 |
| | 3. カードの紛失等の危険があるから。 | | 4. その他 |
| | 4. その他 | | |

問31 お宅では、買物代金、旅行代金、公共料金等の支払手段として主にどのようなものを利用していますか。(○は2つまで)

1. 現金
2. クレジットカード
3. プリペイドカード
4. 口座振替
5. その他

問32 お宅では、買物代金、旅行代金、公共料金等の支払手段として全体の何割程度を現金で決済していますか。また、お宅の家計の月平均の手持ち現金（銀行券および硬貨）残高はどのくらいですか。

それぞれについて下表に数値をご記入ください。

現金決済の割合	□ □ □ □ □ 割
月平均手持ち現金残高	百万 十万 万 千円 □ □ □ □ □

問33 お宅では、生活感覚として“経済的な豊かさ”を実感されていますか。

(○は1つ)

1. どちらかと言えば、経済的な豊かさを実感している。

→ 続けて④にお答えください。

2. どちらかと言えば、経済的な豊かさを実感していない。

→ 続けて⑤にお答えください。

④ 上記1.を選択されたお宅では、“経済的な豊かさ”をどのようなことで実感されましたか。

⑤ 上記2.を選択されたお宅では、どのようなことが実現すれば“経済的な豊かさ”を実感できると思われますか。

次のうちから3つ以内を選び、それぞれ下表の該当する番号に○印をつけてください。

1. マイホームの取得
2. マイホーム以外の実物資産（土地、建物、別荘等）の取得
3. ある程度の額の美術品、貴金属等の保有
4. ある程度の額の金融資産の保有
5. ある程度の額の年収の実現
6. 高級耐久消費財（自動車、家具、家電等）の保有
7. ゴルフ会員権の保有
8. スポーツ・レジャー関連消費の充実
9. ある程度自由に使える時間の実現
10. 教育の充実（高学歴、専門知識の獲得等）
11. その他

(○はそれぞれ3つまで)

④経済的な豊かさを実感しているお宅	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
⑤経済的な豊かさを実感していないお宅	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

問34 お宅では、暮らし向きに関する以下の4組の対照的な意見A、Bについて、どちらの意見に近いと判断されますか。

それぞれについて下表の該当する欄に○印をつけてください。

- | | |
|----|---|
| 1. | A: 過去1年間をみると、物価の上昇が家計を圧迫してきている。 |
| | B: 過去1年間をみると、物価の上昇は家計をさほど圧迫していない。 |
| 2. | A: 今後1年間を展望すると、物価が上昇して家計を圧迫すると思われる。 |
| | B: 今後1年間を展望すると、物価が上昇して家計を圧迫することはないと思われる。 |
| 3. | A: 現在の暮らし向き全般については、1年前に比べて良くなっている。 |
| | B: 現在の暮らし向き全般については、1年前に比べて悪くなっている。 |
| 4. | A: 先行き1年後の暮らし向き全般については、現在よりも良くなっていると思われる。 |
| | B: 先行き1年後の暮らし向き全般については、現在よりも悪くなっていると思われる。 |

	Aに近い	どちらとも言えない	Bに近い
1. の意見			
2. の意見			
3. の意見			
4. の意見			

問35 お宅では、最近の消費生活や消費スタイルについて、どのようにお感じになっていますか。

(○はいくつでも)

1. 所得はそこそこ伸びているが、ローンの返済額が大きく、以前に比べて消費支出に充当できる金額が減ってきている。
2. 所得が順調に伸びているので、これまでどおり消費重視の姿勢に変わりはない。
3. 消費の高級化傾向のもと、以前は背伸びをして高額商品を購入したこともあったが、バブル経済の崩壊を目のあたりにして、最近では身の丈に合った消費を心掛けている。
4. 特にこれといった物を買っている訳ではないが、必需的でないサービス消費支出(外食、スポーツ、レジャー等)が知らず知らずのうちにかさんでいるようだ。
5. 自動車、家電、家具などの耐久消費財については、ひととおり購入しており、新たに購入する意欲はとらえず後退している。
6. 自動車、家電などの耐久消費財については、付加価値をつけた新製品が次々と発売されるため、今後も購入(買い替えを含む)していくつもりである。
7. 単なる節約ではなく、価格的に割安感のあるものを追求することにより、これまでの質的な生活水準を落とさずに無駄な出費を抑えている。
8. 節約に努めようとしているものの、収支を締めると、やはり無駄づかいをしていることが多いようだ。

問36 生活意識に関する以下の2組の対照的な考え方A、Bについて、お宅では、どちらの考え方に近いと判断されますか。(○はそれぞれ1つ)

1.
 - A: 将来のことを考えて計画的に貯蓄し、生活していくべきである。
 - B: 将来のことをあれこれ心配するよりも、現在の生活を楽しく過ごすべきである。
2.
 - A: 公的年金だけでは頼れないので、老後に備えて貯蓄を増やす必要がある。
 - B: 公的年金があるので、老後に備えてとくに貯蓄を増やす必要はない。

	Aに近い	どちらとも言えない	Bに近い
1. の意見			
2. の意見			

問37 お宅では、家計簿をおつけになっていますか。(○は1つ)

1. つけている。
2. ときどきつけている。
3. つけていない。

問38 お宅では、②将来のことを考えて生活設計を立てていますか。

また、⑤生活設計を立てているお宅では、何年くらい先まで考えて生活設計を立てていますか。該当する番号に○印をつけてください。

1. 生活設計を立てている。

② → ⑤

1. 1~2年先まで
2. 3~5年先まで
3. 10年先まで
4. 20年先まで
5. 20年以上先まで

② → ⑤

2. 現在生活設計を立てていないが、今後は立てるつもりである。

3. 現在生活設計を立てていないし、今後も立てるつもりはない。

② → ⑤

問39 問38で「1. 生活設計を立てている」に○印をつけたお宅にお尋ねします。お宅では、生活設計を考えるにあたっては、何を重視されますか。(○は2つまで)

1. 生活に計画を持ち、はじめのある生活をする
2. 住宅(土地を含む)の取得または増改築などの資金
3. 老後の生活資金
4. こどもの教育資金
5. こどもの結婚資金
6. 耐久消費財(自動車、家具、家電等)の購入資金
7. 旅行、レジャーの資金

問40 生活設計を立てていないお宅にお尋ねします。お宅において生活設計を立てない理由、あるいは立てるうえでの問題点としてお感じになっていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 自分たちが、将来何をしたいのかが定まらない。
2. 将来のことで、今から思い悩みたくない。
3. 将来は、経済環境等が大きく変わり得るので、今から計画をたてても意味がない。
4. 生活設計を立てなくても、その場その場でなんとかなる。
5. 生活設計を立ててみたいが、将来の収入や費用など生活設計のための具体的な条件がわからない。
6. その他

問41 お宅では、現在どのような住居にお住まいですか。(○は1つ)

1. ご自身が購入した家屋・マンション
2. 相続または贈与を受けた持家
3. 同居している親または親族の家
4. 民間の賃貸マンション・アパート、借家
5. 公団・公営の賃貸アパート
6. 官舎、社宅
7. 間借、その他

問42 マイホームを取得していないお宅にお尋ねします。お宅では、世帯主の方が何歳くらいの時にマイホームを取得する予定ですか。(○は1つ)

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳以上
6. 親からの相続等によるので、いつになるかわからない。
7. マイホームの取得については目下のところ考えていない。
8. 将来にわたりマイホームを取得する考えはない。

問43 近くマイホームを取得する予定があるお宅にお尋ねします。

お宅がマイホームを取得するのに必要な資金の総額はどのくらいですか。また、その資金をどのように調達する予定ですか。

それぞれについて下表に金額をご記入ください。なお、買い替えの場合は、新旧物件の価格差ではなく、新規取得物件の方の総額をご記入ください。

	億	千万	百万	十万	万円
必要資金総額					
うち 自己資金					
借入金					

問44 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。お宅では、老後の生活費として、毎月最低どれくらい必要とご感じですか(現在の物価水準を基準にお答え下さい)。

百万 十万 万円

--	--	--

また、老後の暮らしについて、経済面でどのようにお考えですか。(○は1つ)

1. まったく心配していない。
2. それほど心配していない。
3. 多少心配である。
4. 非常に心配である。

問45 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。問44で、「1. まったく心配していない」、「2. それほど心配していない」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 十分な貯蓄があるから。
2. 退職一時金があるから。
3. 年金(公的年金、企業年金、個人年金)や保険があるから。
4. 生活の見通しが立たないほど物価が上昇するとは考えられないから。
5. 十分な貯蓄はないが、老後に備えて着々と準備(貯蓄など)しているから。
6. 再就職により収入が得られる見込みがあるから。
7. 不動産収入(家賃、地代等)が見込めるから。
8. こどもなどからの援助が期待できるから。
9. 親などからの遺産が見込まれるから。
10. その他

問46 世帯主の年齢が満60歳未満のお宅にお尋ねします。問44で、「3. 多少心配である」、「4. 非常に心配である」に○印をつけたお宅では、その理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

1. 十分な貯蓄がないから。
2. 退職一時金が十分ではないから。
3. 年金(公的年金、企業年金、個人年金)や保険が十分ではないから。
4. 生活の見通しが立たないほど物価が上昇することがあり得ると考えられるから。
5. 現在の生活にゆとりがなく、老後に備えて準備(貯蓄など)していないから。
6. 再就職により収入が得られる見込みがないから。
7. 家賃の上昇により生活が苦しくなると見込まれるから。
8. マイホームを取得できる見込みがないから。
9. こどもなどからの援助が期待できないから。
10. その他

問47 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。
お宅では、現在の暮らし向きについてどのようにお考えですか。 (〇は1つ)

1. 家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている。
2. 家計にあまりゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている。
3. 家計にゆとりがなく、多少心配である。
4. 家計が苦しく、非常に心配である。

問48 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。
現在のお宅の生活費は、どのような収入源に拠っていますか。

(〇は3つまで)

1. 就業による収入
2. 公的年金
3. 企業年金、個人年金、保険金
4. 貯蓄の取崩し
5. 利子・配当所得
6. 不動産収入（家賃、地代等）
7. こどもなどからの援助
8. 国や市町村などからの公的援助
9. その他

問49 世帯主の年齢が満60歳以上のお宅にお尋ねします。
お宅では、老後を豊かに不安なく暮らしていくために必要なことは、どのようなことだと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 高齢者に対する雇用機会の確保
2. 公的年金制度の拡充
3. 物価（土地・住宅価格を含む）の安定
4. 老人医療制度（老人病院、定期健康診断等）の拡充
5. 公的・私的老人介護施設やサービス（老人ホーム、ホームヘルパー等）の拡充
6. 身体が不自由な人のための各種設備（車いす用通路、非常用通報システム等）の整備
7. 老後に備えた貯蓄の優遇措置の実施
8. 地域住民のふれあいや交流の場の確保
9. その他

問50 お宅では、お子さんに渡しているこづかいは、月平均で1人当たりどのくらいの金額ですか。

学齢区分ごとに下表に金額をご記入ください。

万 千 百 十 円

小学生(1・2年)					
小学生(3・4年)					
小学生(5・6年)					
中学生					
高校生					

問51 お宅の世帯員としてのご家族は自分も含めて何人ですか。 (〇は1つ)

1. 2人
2. 3人
3. 4人
4. 5人
5. 6人
6. 7人以上

問52 お宅の世帯主の方は満年齢で何歳ですか。 (〇は1つ)

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60～64歳
6. 65～69歳
7. 70歳以上

問53 お宅の世帯主の方のご職業は次のうちどれに当てはまりますか。 (〇は1つ)

1. 農・林・漁業者
2. 自営商・工・サービス業主
3. 事務系職員
4. 労務系職員
5. 管理職
6. 自由業
7. その他

問54 お宅のご家族の就業状況は次のうちどれに当てはまりますか。 (〇は1つ)

1. 世帯主およびその家族ともに働いていない。
2. 世帯主のみが働いている。
3. 世帯主とその配偶者が働いている。
4. その他